

学 校

公立学校で被害を受けたのは、高等学校20校、中学校27校、小学校76校、養護学校4校、幼稚園4園の合計131校であった。なかでも、会見小学校では校舎の柱に多数の亀裂が入り半壊状態となるなど、大きな被害を受け、そのほかの公立学校でも校舎外壁の剥離・亀裂、窓ガラスの破損等の被害があった。この地震による施設被害及び児童生徒への影響は甚大で、地震の翌日の10月7日には県西部を中心に97校が臨時休校の措置をとり、全ての学校が授業を再開したのは10月16日のことであった。

また、私立学校においても、校舎・園舎等に亀裂が入ったものが多かったが、中には地盤の液状化、沈下に伴う陥没があり、被害を大きくしたのもあった。

児童生徒の被害はなかったが、10月7日は米子市内の高等学校3校が臨時休校の措置をとり、幼稚園についても休園、自由登園の措置をとった園があるなど大きな影響があった。

公立学校の休校状況

区分	7日(土)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	16日(月)
小学校	60	12	7	3	3	0
中学校	23	4	2	1	1	0
盲聾養護学校	4	0	0	0	0	0
高等学校	10	2	2	1	0	0
計	97	18	11	5	4	0



取り壊される被災住宅

廃棄物処理

この地震では、居住が困難で二次災害の危険もあり解体せざるを得ない被災家屋が多数発生したため、生活環境保全の観点から市町村が被災家屋等の解体を行った。これについては、国庫補助事業の対象とならないため、県において補助を行った。

また、解体した家屋から木くず・がれき等の廃棄物や壊れた陶器等の不燃物が大量に発生したため、臨時収集を行い、処理を行った。これは、災害廃棄物処理事業費補助金を受け、市町村が実施した。

災害廃棄物処理事業費

(単位：円)

市町村名	総事業費	国庫補助関係			県補助関係				市町村負担額
		総事業費	基本額	交付決定額	総事業費	県補助金		計	
						解体費	処分費		
米子市	578,582,482	283,370,729	274,416,000	137,208,000	295,211,753	129,585,000	18,020,000	147,605,000	293,769,482
境港市	749,847,637	433,970,605	412,533,000	206,266,000	315,877,032	135,014,000	22,924,000	157,938,000	385,643,637
西伯町	329,434,607	114,879,708	99,855,000	49,927,000	214,554,899	83,170,000	24,107,000	107,277,000	172,230,607
会見町	147,844,958	81,310,460	72,464,000	36,232,000	66,534,498	33,267,000	0	33,267,000	78,345,958
岸本町	32,074,712	12,572,066	12,570,000	6,285,000	19,502,646	8,928,000	823,000	9,751,000	16,038,712
日吉津村	1,596,154	980,303	980,000	490,000	615,851	307,000	0	307,000	799,154
日南町	37,889,500	14,613,500	13,957,000	6,978,000	23,276,000	11,337,000	301,000	11,638,000	19,273,500
日野町	693,493,677	396,767,633	366,552,000	183,276,000	296,726,044	100,715,000	47,648,000	148,363,000	361,854,677
江府町	27,590,585	11,708,091	9,628,000	4,814,000	15,882,494	6,866,000	1,075,000	7,941,000	14,835,585
溝口町	407,297,357	202,292,628	152,130,000	76,065,000	205,004,729	75,474,000	27,028,000	102,502,000	228,730,357
計	3,005,651,669	1,552,465,723	1,415,085,000	707,541,000	1,453,185,946	584,663,000	141,926,000	726,589,000	1,571,521,669